

# 2025年度 事業報告書

特定非営利活動法人大阪 NPO センター

## I 事業期間 2025年4月1日～2026年3月31日

## II. 概要報告

私たちが29年間進めてきた市民社会の推進の動きは、この数十年で大きく広がり、NPO等やソーシャルビジネス事業者等は社会の重要な担い手として存在感を高めてきました。また、インターネットやSNSの普及により、社会課題解決への新たな関わり方も広がりつつあります。一方で、社会課題を解決する事業運営には、資金調達の不安定さや人材不足など、依然として活動の継続を左右する課題も残っています。こうした課題に対し、CSOや企業との協働・パートナーシップの強化が必要とされています。

創設以来継続している「CSOフォーラム」においては、ここ数年で100件以上の応募が定着しており、社会課題解決に対する関心の高さやCSOに対する認知度拡大につながっています。加えて、企業との連携を進めるべく新たなアプローチをすすめた結果、フォーラムにおいても協賛、冠賞、当日参加などさまざまな応援スタイルで関わってくださる企業が例年より増えたことも特筆すべきことです。

次年度、センターは設立30周年という節目を迎えます。これまでの実績であるデータベースを活用することでクラウドネットワークを進化させるとともに、変化の多い時代に対応しながらも、さらなる歩みを進めていきます。

## III. 事業内容

### 公共を市民に拓くための社会基盤整備事業

#### 1. CSOフォーラム

##### ■事業概要

社会課題の解決を目的とした新規の事業活動計画をもつ個人や団体、そして長期に渡って社会課題解決に取り組んできた団体を表彰し、社会に広く発信する事業。

##### ■今年度の評価

今年度は114件の社会課題解決を目指す事業の応募があり、最終選考会が開催されるフォーラムでは82名の方々が参加され、例年以上のにぎわいが生まれました。協賛金に関しては、クラウドファンディングの手法を始めて導入し、新たな応援者を獲得することができました。

ファイナリスト・セミファイナリストをはじめとした、大阪NPOセンターならではのCSO支援の仕組みを活かした事業活動へのサポートや、フォーラムを機につながった新たなネットワークを繋げていきます。

## (1)CSOフォーラム2024授賞後のフォローアップ(サポート)

### ①事務局によるサポート

対象団体	サポート内容
(一社)Hidamari	事務局と認定コンサルタントによる事業計画をさらに強固にするためのコンサルティングサポート(計3回)
(一社)mogmog engine	・事務局と認定コンサルタントによる中期事業計画策定のための伴走型コンサルティングサポート(計8回) ・取り組んでいる社会課題の1つである「小児の嚙下障害」をキーワードに他のCSOとのマッチング
NPO法人 WELgee	認定NPO法人に関する情報や知識が必要とのニーズに対し、事務局によるワークショップ形式の講座を提供し、法人運営について検討する機会を提供
(一社)NIMO ALCAMO	・会計・法務に関する相談があり、専門家をマッチング(2件) ・ゆるっと北浜サロンにて取り組みを紹介する機会を提供
(一社)office ドーナツトーク	・運営に関する相談に対応 ・企業が集まる場において、プレゼンの機会を提供

### ②クラウドネットワークを活用したサポート

#### ■NPO法人 WELgee(大阪弁護士会賞)

- ・大阪弁護士会人権フェスタにて講演

#### ■一般社団法人 office ドーナツトーク(大阪ロータリークラブ賞)

- ・4月11日(金)大阪ロータリークラブ第4959回 例会にて卓話者として登壇

## (2)CSOフォーラム2025

### ①選考経過

- ・応募期間 7月22日～8月31日  
(広報告知、WEBサイト及びSNS、SNS広告、プレスリリースなど)
- ・応募総数 114件
- ・一次選考会 9月16日 書類審査 10団体通過
- ・二次選考会 10月21日 プレゼンテーション審査 5団体通過
- ・最終選考会 11月27日 プレゼンテーション審査  
会場: NTT 西日本のオープンイノベーション施設QUINTBRIDGE  
来場者総数 82名

※募集時期にオンライン説明会、選考過程でもオンラインでのトークイベントや交流会を開催

#### ■後援

大阪府、大阪市、堺市、(独)中小企業基盤整備機構 近畿本部、在大阪・神戸米国総領事館、  
(公財)大阪産業局、大阪商工会議所、大阪商工信用金庫

## ■協賛関係

- ・協賛金 2,430,000円 (18件)
- ・広告収入 210,000円 (バナー広告5件)
- ・クラウドファンディング収入(期間:9月25日~11月15日) 143,000円(支援者 12名)

## ②選考結果

### ～本賞～

#### 【グランプリ】認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ(東京都)

事業名:みんなの居場所「こども食堂」を全国に広げ、誰も取りこぼさない社会をつくる事業

#### 概要:

行政の支援とは異なり、誰でも参加できる点が特徴であり、貧困対策や多様性の学習、育児支援など多くの社会的価値を提供している「こども食堂」。①こども食堂への直接支援や地域ネットワーク団体の設立支援②企業や団体との協力を推進③調査・研究活動を通じた社会への発信を通してこども食堂の普及や市民参加を促進し、全小学校区に1カ所以上の設置を目指す。

#### 【準グランプリ】株式会社NIJIN(東京都)

事業名:オルタナティブスクール小中一貫校NIJINアカデミー

#### 概要:

教育の多様性を実現することで、不登校を根本から解消し、希望を持てる教育環境を作ることを目指している。多様性・主体性・選択性を基盤に持つ新しい教育機関としてNIJINアカデミーを設立。メタバースだけでなく、リアルキャンパスを全国29地域に展開。さまざまな機関と連携し、教育体験と友人との出会いも提供。授業は国内最大級の教師団体「授業てらす」と協力して実施。

#### 【ファイナリスト賞】株式会社 maemo atomo(大阪府)

事業名:産前産後の課題解決に向けた運動プログラムの開発・提供

#### 概要:

代表は助産師。妊娠中の高血圧によって母子が命を失う事例を知り、研究機関や医療機関と連携し、運動プログラムの開発・提供を行い、妊婦健診やメンタル状態の把握によってリスク低下に取り組んでいる。対面サービスやオンラインで、個々にあった運動プログラムを提供中。運動を取り入れることで合併症予防だけでなく、前向きな気持ちの促進やコミュニティの形成にもつながり、産前産後の心身の健康を守る。

#### 【ファイナリスト賞】認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ(兵庫県)

事業名:さまざまな困難を抱える女性や母子のための支援付き住宅「ウィメンズハウス」事業

#### 概要:

日本におけるドメスティック・バイオレンス(DV)の問題に対し取り組んできている。過去に実施した調査から、安心して暮らせる住まいの重要性が浮き彫りになっており、2010年から住まい支援を開始。対象は、経済的な理由などで住まいの確保が困難な女性とその子ども。未活用の民間ストックを活用し、居住スペースのほか、共有スペースや学習室、シェアオフィスを設けて、安心・安全な環境の中で生活再建を支援している。長年のネットワークを活用し、相談支援や仲間作りも促進。

#### 【ファイナリスト賞】株式会社 balibali(大阪府)

事業名:枯れないお花屋さん ～遠隔接客×在宅仕事の挑戦～

#### 概要:

在宅や遠隔接客を活用して「自分の特性や環境にあった自分の”やりたい仕事”をあきらめなくてよい社会」

を目指す。具体的には、さまざまな背景をもつメンバーでモールやビーズで手作りされた一点ものの「枯れないお花」を製作、実店舗にて販売している。WSやイベントを通して「違いをもつ人と関わる楽しさ」や「多様な働き方」に触れてもらう機会も提供し、地域とのつながりも育んでいる。

～冠賞～

【大阪青年会議所賞】株式会社 balibali(大阪府)

【米国総領事インパクト賞】【大阪ロータリークラブ賞】一般社団法人 Japan Baseball Innovation

事業名:LIGAサマーキャンプ in 北海道

概要:

未来を担う若者たちが自らの力で豊かな人生を築くために、野球を通じて固定観念を覆し新たな価値を創出する取り組みを行っている。リーグ戦形式を採用し、敗れたチームにも次の機会を提供することや、選手の成長を促す特別ルール、スポーツマンシップの教育、指導者の能力向上などが重要な要素として取り入れている。事業を通じて育まれた選手たちが、今後の時代を生き抜く人材となり、さらには高校野球界に変革をもたらすことを目指す。

【大阪弁護士会賞】認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ(兵庫県)



### (3)CSOフォーラム2025 授賞後のフォローアップ(サポート)の進捗

#### ①事務局によるサポート・コーディネート

- ・ファイナリスト・セミファイナリスト10団体へのヒアリングを実施し、サポートニーズを把握
- ・2025年全応募者を対象とした無料相談会の実施(1月、3月開催) 6件

#### ②クラウドネットワークを活用したサポート

##### ■NPO法人ウィメンズネットこうべ(大阪弁護士会賞)

- ・大阪弁護士会月刊誌2月号に大阪弁護士会賞、ならびに受賞団体について掲載

## 2. 拠点事業(堺市市民活動コーナー)

### ■事業概要

市民活動に関する情報発信やNPO法人設立・運営相談、各種セミナーや個別サポートを実施します。

### ■今年度の評価

起業教育や動物保護など多岐にわたる分野の法人設立を伴走支援し、活動の継続や発展に寄与しました。また、講座内での交流によるマッチング促進に加え、専門家紹介によるクラウドファンディング支援や、民間企

業施設とNPO法人との橋渡しなど、具体的な連携支援を多数行いました。今後は相談内容の変化等に対応し、より実践的な支援体制を整えていきます。

① 相談 年間 152件

<相談内容内訳>

法人設立 57件、運営全般に関する相談 58件、広報 5件、マッチング 4件、情報収集 3件  
助成金関係 14件、講演・講師派遣 1件、その他 10件

② 講座、シンポジウム 年間7回

タイトル	対象者	参加者数
インスタ運用術 実践編～フォロワーと共感を増やす極意～	市民活動団体	15名
認定NPO法人をめざすには～制度のこと、やさしく解説します～	市民活動団体	6名
ゲームで考えるあなたの活動のファンづくり	市民活動団体	5名
事業を前進させる！楽しいミーティングの進め方	市民活動団体	5名
AIでアイデアをカタチに！企画づくり講座	市民活動団体	18名
さかい協働シンポジウム(評価報告会&交流会) 「協働と共創がひらく地域の未来 -多様な市民活動団体等の参加がつながりを生む時代へ-」 講師:特定非営利活動法人きょうとNPOセンター チーフ事業コーディネーター 向井 直文氏	市民活動団体	7名
「協働の実践」 講師:近畿大学吉田忠彦氏 ゲスト:NPO法人ASUの会 代表理事 増田靖氏	堺市職員	368名

③ 個別サポート(事務局と専門家による伴走型運営サポート) 対象5団体 合計20回

<対象団体>

NPO法人 Team プレイズ、NPO法人カリネ、NPO法人からだところのスクール、NPO法人ココスマ、  
NPO法人ピュアフレンズ

④ 情報発信

- ・NPO情報メール便発送(偶数月、年6回)発送件数 308件
- ・メルマガ配信毎月 1日・15日 登録者数 222件

※2026年3月16日付で3年間の受託が決定しています。

### 3. スペース貸出によるサポート

#### ■事業概要

北浜エリアを中心とした多様な人々との共創の場づくり、並びに活動間もないCSOに対するサポートの一環として、セミナースペース・レンタルスペース・メールボックスを設置し、レンタルを行う。

#### ■今年度の評価

レンタルスペース・セミナースペースの利用率を上げるため、案内チラシを作成しCSOフォーラムや講座等で配布、サポセン等に配架依頼やシミポタへ募集掲載、民間のスペース貸し掲載サイト、ホームページ・SNSで周知してきました。しかしながら、オンラインを中心とした場所に依存しない働き方が広まったこともあり、利用契約には繋がらず、事務所移転に伴いセミナースペースとレンタルスペース事業を終了する運びとなりました。メールボックス契約は需要があるため、継続して行います。

## <契約状況>

内容	利用回数、団体数(年間)
セミナースペース	6回
レンタルスペース	5団体契約
メールボックス	3団体契約

## 企業との連携・コンサルティング及びコーディネート事業

### 1. CSO相談、専門家相談

#### ■事業概要

大阪NPOセンター会員やCSOを対象とした活動に関する様々な相談に対し、これまでの経験で培った知識や活動に必要な資源を提供し、CSOの運営サポートを行います。相談内容によっては、会計、労務、法務などの「専門家相談」につながります。

#### ■今年度の評価

AIの出現により、NPO法人の概要や申請手続きなどの疑問はWEB上で解消できることが増えていますが、どのような手順で活動を拡げていくのかや、個々の細かいケースについての問題はAIでは対応できず、相談に訪れる方もいらっしゃいました。また、会員の中でも、定期的に相談に乗ってほしいという伴走支援のニーズにもあり、新たな取り組みも行いました。

#### <有料相談件数>

- ・事務局相談 年間5件(内容:法人設立、運営、解散、ソーシャルビジネス等)
- ・専門家相談 年間2件(内容:法務、労務)
- ・伴走サポート(コンサルティング) 事務局相談3回+専門家相談1回 計4回(内容:事業整理、継承について)

### 2. コーディネート事業

#### ■事業概要

主に、企業・行政・教育機関・支援機関を対象とし、大阪NPOセンターがコーディネートすることで市民活動団体やソーシャルビジネス事業者等、社会課題解決の現場で活躍するCSOとの連携を生み出すことを目指し、多様な主体と直接的に情報共有や連携を強化しました。

#### ■今年度の評価

特に、企業との連携に向けては、新たなアプローチを行い、大阪NPOセンターや、CSOの取り組みについて知っていただく機会をつくることができました。CSO事業者だけでなく、企業等応援者となりうる層に対しても引き続きアプローチを続けていきたいと思えます。

### 【企業】 17回

- ・CSOフォーラムにおける連携(共創・協働の場の活用)
- ・堺経営者協会 定例会にて 企業の社会課題解決について講演、CSOの事例発表
- ・スミセイ情報システムズの防災備蓄の寄付をコーディネート
- ・(株)地域創生Coデザイン研究所とのシンポジウムでの連携並びに情報共有

### 【金融機関】 6回

- ・大阪商工信用金庫との情報共有並びに連携の検討

### 【行政】 15回

- ・中間支援組織についての照会対応、情報提供
- ・CSOフォーラムにおける後援ならびに広報、選考委員、冠賞での連携
- ・講師派遣依頼

### 【支援機関】 9回

- ・中間支援組織(NPO法人NPOサポートセンター、(株)コリアジャパンセンター等)との情報共有
- ・助成元団体(公益信託アジア・コミュニティ・トラスト事務局)との情報共有
- ・NPO、ソーシャルビジネス等の求人サイト(株)activo との情報共有

### 【教育機関】 2回

- ・大学ボランティアセンターとの情報共有

### 【CSO 事業者】 19回

- ・CSOフォーラム過去受賞団体の近況報告、情報収集(NPO法人ママトリエ等)、本年度受賞者のニーズ把握
- ・CSOフォーラム選考委員やオンラインイベントゲストとしての連携(株)グランディーユ、(株)Lean on Me 等)
- ・奈良県講座受講者への情報提供等

## 3. データベース構築 ※新規事業

### ■事業概要と今年度の評価

30周年を迎えるにあたり、これまでのセンターがもつネットワーク(主な対象はCSOフォーラム応募団体)の情報をアップデートし、整理を行い、データベースの作成を始めました。今後さらに、データベースの仕組みを検討し、データベースを活用し、クラウドネットワークの具現化につなげていきたいと思っております。

### <本年度取り組み内容>

- ・これまでのCSOフォーラム申請団体の整理、WEBベースでの現状調査(設立年や代表者、活動状況など)
- ・CSOフォーラム受賞団体に対する現状確認、ニーズ調査アンケートを実施(9月)とアンケート結果分析
- ・カテゴライズ検討

## 調査研究・政策提言事業

### 1. 講師・委員派遣

#### ■事業概要

行政・支援機関等の各種委員において、NPO・市民活動分野の中間支援組織としての知見を提供しました。また、講師依頼については、CSO実践者やサポーターに対し、これまでの経験やCSOの現場の現状などの知識や情報を提供しました。

#### ■今年度の評価

##### ① 委員就任 年8件

【大阪市】大阪市消費者保護審議会、民間活力導入プロジェクト事業提案評価会議、大阪市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会、大阪市人権施策推進審議会委員、大阪市子ども青少年局 選定会議委員 等  
【大阪府社会福祉協議会】大阪府災害ボランティアセンター運営委員会  
【大阪市立総合生涯学習センター】ネットワーク・ラボ審査委員

##### ② 講師依頼 年3件

【貝塚市】市民活動交流会ファシリテーター派遣  
【大阪弁護士会】令和7年度第2回NPO部会勉強会での講演「NPO法人の現状と法的問題」  
【大阪府】NPOレベルアップセミナー第1部講師 テーマ「SNSについて」

## 情報発信事業

#### ■事業概要

センターの取り組みを広く社会に発信するとともに、CSOが取り組む活動を発信・シェアすることで、人々の共感や社会課題の解決に繋がるアクションを促してきました。

#### ■今年度の評価

##### ① WEB サイト運用

・ユーザー数ならびに新規アクセス者数は前年度より増加傾向にあります。流入源として Google 検索、SNS(Instagram・Facebook)が多くを占めていましたが、今年度は ChatGPT などの AI からのアクセスがありました。

##### ② SNS運用

・特に Instagram での発信強化と DM を活用したフォロワーとのコミュニケーションに注力しました。今年度はクラウドファンディングを実施したことで当センターの活動をシェアして下さる方が増えたことや、CSOフォーラムの募集を通じて新規フォロワーの獲得の機会につなげることができました。

##### ③ メールマガジンリニューアルに向けた検討

・会員向けに発行しているメールマガジンのリニューアルに向けて、CSOの特集コーナーやコラムなど、読者が読みたくなる内容やコンテンツの充実化を検討しました。

## 講座・研修・イベント事業

### ■事業概要

センターのもつ知識、情報やクラウドネットワークを活かし、CSOの創出・発展につながる講座・研修・イベントを提供しました。自主開催の講座・イベントに関しては、大阪NPOセンターのセミナールームを活用して行いました。外部からの依頼に対しては、講座の狙い等ニーズを拾いながら企画から運営まで提供しました。

### ■今年度の評価

自主開催に関しては、広報・PR 的な役割も期待していましたが、期待値に達することができませんでした。講座企画運営に対しては、センターが得意とするCSOに役立つ知識や、クラウドネットワークのメンバーとの共創を通して講座を提供することができました。

### ① 自主開催

#### ■北浜サロンアカデミー(講座)

テーマ・内容	開催日時
NPO法人の始め方	5月14日(水) 12:00~13:00
認定NPO法人入門セミナー	7月2日(水) 12:00~13:00
NPO法人の始め方	9月10日(水) 12:00~13:00
NPO法人の始め方	11月5日(水) 12:00~13:00

#### ■ゆるっと北浜サロン(イベント) 7月29日開催

テーマ:「社会課題解決に取り組む企業 ~福祉制度の枠を超えて、新しいはたらき方の実践と挑戦~」

ゲスト:株式会社グランディユー 代表取締役 小笠原恭子氏

一般社団法人 NIMO ALCAMO 理事/WORK RULE SHIFT KYOTO 共同代表 木戸伸幸氏

#### ■ふらっと北浜サロン(相談会) 2回開催

### ② 講座企画運営 奈良県 NPO法人等個別相談会及びセミナー(情報交換会)実施委託事業

主にNPO法人を対象とした「運営に関わる人」をテーマにしたワークショップ型講座を開催。その後運営・会計税務に関する個別相談会を実施しました。

開催日時:2026年2月10日(火)

13:00~15:45/ 15:45~16:45

場所:奈良県社会福祉総合センター(橿原市)

参加者:セミナー 18名 / 相談会 運営 4名、会計税務 3名



### ③ 視察受け入れ テーマ:「ソーシャルビジネスについて」

日時:2026年2月6日 対象者:國立江陵原州大學校(韓国) 12名  
コミュニティビジネスでの起業を視野にいた視察チーム(社会人含む)が、日本での事例収集のために訪れました。CSOフォーラム受賞者を中心に紹介したところ、日本独特の課題や事業展開に関心を持つ方が多く、今後も日本のみならず海外での社会課題を目指す団体とも情報交換をしていきたいと思われました。視察の様子は外国の方もアクセスが多いSNSで発信しました。



## 社会性の高い市民事業推進事業

### 1. “志”民ファンド

社会課題の解決に取り組むCSOに対する応援・サポートのための資金であり、本年度は「能登半島地震応援金」として有効に活用しました。

#### <能登半島地震応援金> 実施期間:2024年4月~2026年3月

2024年1月1日に石川県能登半島を震源とする地震により、被災した地域の応援をするCSOに対して、地域復興に必要となる事業活動の資金を応援金として支給しました。応援金は市民社会創造基金を資源とし、一定の審査を通過した9団体に対し、総額714万円を拠出しました。センターからも応援金対象団体と連携し、支援活動の様子をSNS中心に発信をすることで、幅広い方に知ってもらう機会をつくり、社会全体で被災地支援に取り組むCSOを応援しました。2026年3月に9団体すべての応援金を活用した事業は終了しました。

#### ■今年度の動きと評価

- ・申請期間を終了した団体については、報告書を提出いただき、大阪NPOセンターのWEBサイトにも活動の様子や評価を公開
- ・活動共有会などを通してつながった応援金対象団体同士の連携が生まれた(NPO法人地域鍼灸支援ネット×福井大学医学部能登半島地震災害支援チーム 等)

#### IV. 社員総会の開催状況

名称： 第27回定時総会

日時： 2025年5月28日(木)17:00～17:45 場所： 大阪NPOセンター セミナースペース

出席者数： 46名(委任状、書面表決含む) ※社員総数 92名

<議案及び審議結果>

第1号議案 2024年度 事業報告承認の件

第2号議案 2024年度 決算承認の件並びに監査報告

第3号議案 役員改選(案)の件

報告事項 2025年度 事業計画及び活動予算報告、その他

#### V. 理事会等の開催状況

回	開催日	議題・結果
1	4月23日	【審議】CSOフォーラム2025の方向性について(案)→承認
2	5月 8日	【報告】・2024年度事業報告書(案)の件 ・2024年度活動決算書(案)の件 ・役員改選(案)の件 ・2025年度事業計画書及び活動予算書報告の件 ※上記については2025年3月理事会にて審議・承認済
3	6月26日	【報告】CSOフォーラム2025→一部修正後、承認
4	7月28日	【報告】CSOフォーラム2025進捗報告/サポーターズクラブについて
5	9月24日	【報告】・CSOフォーラム2025経過報告(選考結果、クラウドファンディング) ・サポーターズクラブについて ・ネットワークデータベース進捗報告 ・企業との連携事業
6	10月28日	【報告】・CSOフォーラム2025経過報告/・サポーターズクラブ ・ネットワークデータベース進捗報告/・事務局組織について ・企業連携事業について
7	11月21日	【討議】30周年記念事業
8	12月16日	【審議】資金繰り状況と志民ファンドからの借入について→承認
9	1月30日	【審議】堺市委託事業について→入札参加決定
10	2月25日	【討議】①30周年記念事業(案)について ②2026年事業計画書(案)及び予算書(案)
11	3月26日	【討議】①2025年度事業報告書(案)並びに収支決算見込み ②2026年事業計画書(案)及び予算書(案) 【報告】堺市委託事業継続受託決定